

## つきたい力

- ・情報活用能力
- ・他者を受け入れる力
- ・課題発見、解決力
- ・自己開示、表現力

## 取組みの概要・ポイント

- ・教職員がアンラーンを実施し、1人1台端末の使用目的を明確にした授業づくりの実施
- ・つきたい力を意識した教育活動の掛け合わせ(カリキュラム・マネジメント)の実施
- ・個人内思考を言語化し、様々な方法でアウトプットすることができる1人1台端末を活用した授業づくり

校内作成資料一覧 ↓



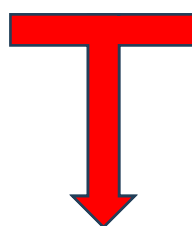
## 具体的な取組みの内容 アンラーンとカリキュラム・マネジメントの実施

### 『新しい時代』の把握(教職員)

- (1) 「VUCA(ブーカ)」や「Society5.0」と呼ばれる『新しい時代』  
→ 教職員が正しく理解し、今求められていることを把握した。
- (2) 『新しい時代』を切り拓く子どもたちに必要な力  
→ 必要な力(つきたい力)を整理した。
- (3) 必要な力(つきたい力)を習得させる授業づくり  
→ これまでの授業について、教材研究の場面でアンラーンを実施し、授業づくりを実施した。  
☆カリキュラムマネジメントも併せて実施した。



アンラーン：学習によって得られた自身の価値観の認識と取捨選択、新たな知識やスキルの習得による学びの修正をおこなうこと



### 授業実践例

### つきたい力を意識した教育活動の掛け合わせ(カリキュラム・マネジメント)

#### <つきたい力を意識した教育活動>

- ・情報活用能力 → ICT活用、NIE実践、日常生活
- ・他者を受け入れる力 → NIE実践、道徳、人権教育
- ・課題発見、解決力 → 防災教育
- ・自己開示、表現力 → 教科・領域指導

☆2つ以上のつきたい力を掛け合わせ、つきたい力のさらなる育成・深化に迫った。



### 1年生 英語科



個別最適な学び：自己調整学習(デジタルコンテンツの活用)



### 2年生 防災ゼミ活動(総合)



探究的な学び・地域連携  
習得した知識・技能の活用



### 3年生 数学科



協働学習：授業支援ソフトの活用  
他者参照(クラウド活用)



### 全学年 朝の帯活動(NIE)



新聞社のワークシートを活用  
GIGA端末(iPad)で探求



## 取組みを通しての子どもの変容

- ・子どもたち自身が目的意識をもって、1人1台端末を授業等で活用することができるようになってきた。
- ・1人1台端末の活用を通して、自分の考えや調べたことをプレゼンテーションソフトなどで整理し、自信をもってアウトプットすることができるようになってきた。
- ・自分の考えや意見をクラスメイトと共有し、積極的に話し合ったり、思考を深めようとする姿が多くの場面でみられるようになった。